

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月24日

京都市長 様

提出者

住 所 京都府宇治市宇治下居64
京都府営水道事務所 広域浄水センター

氏 名 所長 小野 博成

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

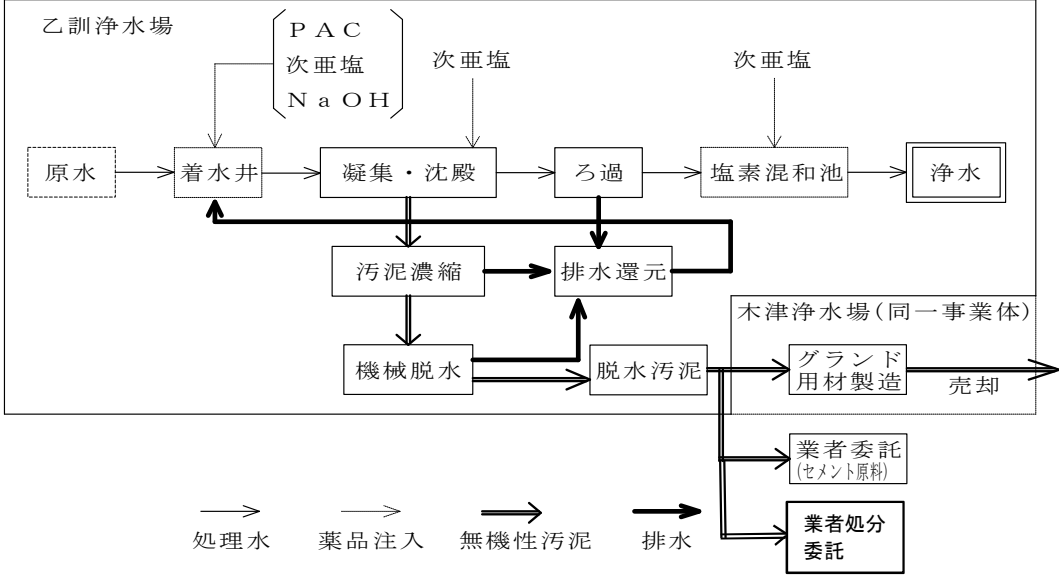
電話番号0774-24-1521

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	京都府営水道事務所 乙訓浄水場
事業場の所在地	京都府京都市西京区御陵大原11-6
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	36 水道業
②事業の規模	令和5年度供給水量 9,566,620 m ³
③従業員数	2名（勤務者1名）、委託による業務従事者21名（勤務者2名）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙処理工程のとおり

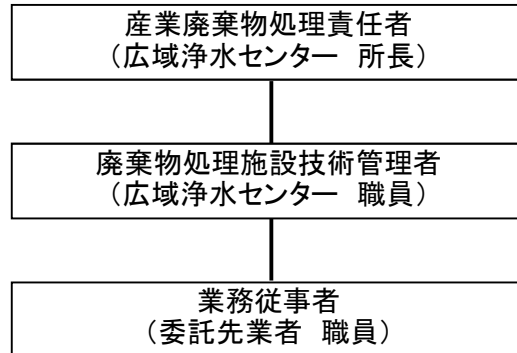
（日本工業規格 A列4番）

産業廃棄物の一連の処理工程
事業場内処理フロー



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	排 出 量	6167 t	t
	(これまでに実施した取組) <ul style="list-style-type: none"> ・脱水汚泥ケーキ含水率の低減 ・泥濃縮濃度の向上 ・汚泥量の低減（凝集剤注入量の削減による） 		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	排 出 量	6918 t	t
	(今後実施する予定の取組) 現状の取組をさらに推進する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 乙訓浄水場で排出する産業廃棄物は、脱水汚泥ケーキのみであり分別は必要なし。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 同上

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	298 t	t
	(これまでに実施した取組) ・ 中間処理後の脱水汚泥ケーキをグラント用材製造の原料として自己再利用（グラント用材は売却） ・ グラント用材として再生利用が不可能な場合に限り、セメント原料として再生利用を行う。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	318 t	t
	(今後実施する予定の取組) 現状の取組をさらに推進する。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	6167 t	t
(これまでに実施した取組) <事業場内処理> ・ 無薬注長時間型加圧脱水（フィルタープレス型、圧搾機構付き脱水機） <自社他事業場処理> ・ グラント用材に製品化（事業場：木津浄水場）			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	6918 t	t
(今後実施する予定の取組) 現状の取組を継続する。			

産 業 廃 棄 物 処 理 計 画 書 の [集 計 用 シ ー ト]

- ・下表にない種類の産業廃棄物については、「産業廃棄物の種類」欄に、品目名を記載してください。
- ・行が不足すれば、適宜追加してください。

産業廃棄物の種類	① 排出量(t)		② 自ら直接再生利用した量(t)		③ 自己直接埋立処分又は海洋投入処分した量(t)		④ 自ら中間処理した量(t)		⑤ ④のうち熱回収を行った量(t)		⑥ 自ら中間処理した後の残さ量(t)		⑦ 自ら中間処理により減量した量(t)		⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量(t)		⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量(t)		⑩ 直接及び自ら自己処理した後の処理委託量(t)	(⑪=①-②-③-④+⑤+⑥-⑦-⑧-⑨ =⑫+⑬+⑭+⑮+⑯)										⑰ ②+⑧自ら再生利用を行った量(t)		⑱ ③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量(t)	
	委託先による区分										⑫ 再生業者への委託委託量(t)	⑬ 熱回収業者への委託委託量(t)	⑭ 熱回収業者以外の熱回収業者への委託委託量(t)	⑮ その他の中間処理委託量(t)	⑯ 埋立処分委託量(t)	⑰ 優良認定処理業者への委託委託量(t)																	
	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標							前年度実績	今年度目標		前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標				
※で定められている種類(シレッタ、ゲダストなど、一体不可分のものについては、空欄行に記載して下さい。)																			中間処理及び最終処分を委託した量	⑫の量のうち、処理業者への再生利用委託量(注1を除く)	⑬の量のうち、認定熱回収施設設置者である処理業者への売却処理委託量	⑭の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への売却処理委託量	⑮の量のうち、委託して減容等の中間処理した量(⑮-⑭を除く)	⑯の量のうち、直接委託して埋立処分した量	⑰の量のうち、優良認定処理業者への委託処理量	⑱の量と⑲の量を合計したもの(自動計算)	⑲の量と⑲の量を合計したもの(自動計算)						
燃え殻																			0	0					0	0	0	0					
汚泥	6,167	6,918					6,167	6,918			298	318	6,167	6,918	298	318			0	0	0	0			298	318	0	0					
廃油																									0	0	0	0					
廃酸																									0	0	0	0					
廃アルカリ																									0	0	0	0					
廃プラスチック類																									0	0	0	0					
ゴムくず																									0	0	0	0					
金属くず																									0	0	0	0					
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず																									0	0	0	0					
紙くず																									0	0	0	0					
繊維くず																									0	0	0	0					
動植物性残渣																									0	0	0	0					
動物系固形不要物																									0	0	0	0					
石綿含有産業廃棄物																									0	0	0	0					
廃石膏ボード																									0	0	0	0					
混合廃棄物(安定型)																									0	0	0	0					
混合廃棄物(管理型)																									0	0	0	0					
																									0	0	0	0					
合計	6,167	6,918	0	0	0	0	6,167	6,918	0	0	298	318	6,167	6,918	298	318	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	298	318	0	0			

(注1)トン未満は原則として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。